



学校法人聖リゴリオ学園

すわせいぼ幼稚園

HP : www.liguorio-gakuen.ac.jp/suwa/



TEL: 0266-52-2339

2026年

(令和8年)

ひかりのこ

4・5月

復活のいのちが働くとき

～ 正常化のプロセスを歩む子どもたち～

園長 野田安則

こどもたちが「お仕事」に向かうときの様子を見ていると、不思議な静けさに出会うことがあります。誰かに言われたからでもなく、他人からの評価を気にしているわけでもなく、ただ自分の内側から引き寄せられるように、一つの活動に集中していきま

す。まだ完全ではない、まだ出来上がっていない、それでも今ここでこれをしなければならぬ、というような内側からの動き、何かに向かっていく真剣さがあります。モンテッソーリは、このように子どもが内側から整えられ、本来の落ち着きや秩序に向かっていく姿を、「正常化」と呼びました。

イエスは山上の説教の中で、「義に飢え渴く人は幸いである」と語りました（マタイ福音書 5:6 参照）。ここでいう義とは、何かを正しく行う力というよりも、神が望んでおられる世界のあり方、秩序や関係のことです。そして「飢え渴く」とは、足りないことへの不安ではなく、本当に必要なものに向かって心が開かれている状態です。「義に飢え渴く人は幸いである」とは、すでに満たされている人のことではなく、まだ満たされていないからこそ、真に求めるものに向かって生きている人のことです。そのような人は、すでに神の国に触れている、とイエスは語ります。

この「まだ満たされていないまま生きる」姿は、復活へと向かう歩みとも深く結びつきます。イエスの復活は、すべてが解決された状態をただ示す出来事ではありません。むしろ、大切な方を失った悲しみ、自分たちの願いが打ち砕かれ、先が見えなくなってしまうような現実を通りながら、それでも命が終わらなかったこと、神のいのちがその先に開かれていることを示す出来事です。弟子たちもまた、復活の主に出会いながら、すぐにすべてを理解したわけではありませんでした。恐れや戸惑いの中にありながら、それでも新しいいのちに招かれていきました。そこには、完成ではなく、なお歩み続けるいのちがあります。

子どもたちの集中する姿を見ると、私たちはその向こう側に、不思議な大きな力が働いているように感じます。完成しているから幸いなのではなく、求めるべきものに向かって生きていること、そのこと自体が、すでに神の祝福の中にあるということです。私たちもまた、日々の生活の中で、何かに飢え渴きながら歩んでいます。未完成のまま、なお求めながら生きるその歩みの中に、復活のいのちは働いています。



ご入園 ご進級おめでとうございます



ご入園、ご進級おめでとうございます

教育主任：八幡紀香

暖かな春の日差しが降りそそぎ、花壇のチューリップもかわいらしいつぼみを膨らませています。

新しい年度が始まり、子どもたちの元気な声が幼稚園に響いています。進級した子どもたちは、ひとつ大きくなった喜びを胸に、張り切った表情で目を輝かせています。新しく入園した子どもたちは、初めての環境に少し不安を感じていましたが、優しく声をかけてくれる友だちや先生に出会いだんだん幼稚園の生活に慣れ、安心して笑顔で過ごす姿が見られるようになりました。



幼児期は、日々の小さな出来事や人との関わりの中で、多くのことを感じ、学んでいく大切な時期です。友だちと一緒に遊ぶ喜び、困っている人に気付く優しさ、そして周りの

人や自然の恵みに感謝する心など、子どもたちが様々な経験を通して豊かな心を育ていけるよう、私たちも一人ひとりの想いに寄り添いながら保育をおこなってまいります。

また、神さまからいただいた大切ないのちを感じながら、お祈りをする心や感謝する心を日々の生活の中で育てていきたいと思っております。

子どもたちが安心して過ごし、笑顔で毎日を楽しむことが出来るよう、保護者の皆さまや地域の皆さまと心を合わせながら、子どもたちの成長を見守っていきたく思います。

今年度もよろしくお願いいたします。





作：tuperu tuperu (絵本館)

せんせいのおすすめえほん

教育補助：上原啓子

今回は私が大好きな絵本の紹介です。発想も絵も大好きです。

パンダが家族で銭湯に行くお話ですが、子供達は絵の面白さ、意外な展開に

「えっ〜」となり、大人は後で2度見をして「そういうことか！！」となります。

親子で一緒に気づく、一緒に笑える作品です。何度見ても楽しい絵本です。

モンテッソーリのひろば

教諭：山田麻里子

お子様のご入園・ご進級おめでとうございます。

新学期が始まり、新しい環境となりましたが、お子さんの様子はいかがでしょうか？

安心して新しい環境で生活する為に私達大人の役割はまず、**環境を整えてあげる事**です。マリア・モンテッソーリも「大人の仕事は子どもの周辺を整えてあげるだけ」と語り、子どもが生活しやすい環境を用意しました。環境とい

っても物的環境だけでなく、**人的環境も重要**となります。私達大人も**環境の一部**となるのです。初めて行う事はそのやり方をゆっくりと見せ、わからない事、困っている時はそっと声を掛け、**必要な事だけ**子どものお手伝いをします。ついつい、「こうやるんだよ。」「こうやって、こうして〜・・・。」と説明しながら教えてしまいがちですが、子どもは余計、混乱し、何をどうしたら良いのかわからなくなってしまいます。一度、**ゆっくりみせてあげる事**で子どもはすぐにその事を習得します。また、子どもは身近にいるお友達や大人から自然と色々な事を学び、その事を自分の中に取り入れていきます。そして、さらに自分自身を自らの力で創り上げていきます。



幼稚園のお部屋には子ども達が「やりたい！」「やってみたい！！」と思えるような、成長段階に合ったお仕事が沢山用意されています。一つお仕事が出来るようになると、次の難しいお仕事をやりたいと思うようになります。教師は必ず、やり方を見せ、一人で出来るようになったら、**そっと見守ります**。そして「一人で出来た！」

が自信へとつながります。



新しい環境で子ども達は戸惑う事が多いかもしれませんが、子どもの「やりたい」気持ちを受け止め、私達教師は子ども達が安心して過ごせる環境を用意して行きたいと思います。



4・5月の予定 (予定は変更になる場合があります)

4月	7日：新入園児準備登園	8日：1学期始業式・クラス会	9日：令和8年度入園式
	13~16日：家庭訪問	17日：全園児1日保育開始	21日：復活のお祝い
	23日：こども読書の日	24日：4月誕生会	28日：避難訓練
			29日：昭和の日
5月	3日：憲法記念日	4日：みどりの日	5日：こどもの日
	18日：避難訓練・引き渡し訓練	19日：春の遠足	21日：給食試食会
	30日：5月誕生会		26日：マリア祭